

3年生 道徳学習指導案

場 所：3年生教室

授業者：石原 亮

- 1 主題名 あきらめない心 <内容項目：希望と勇気、努力と強い意志>
- 2 教材名 「二重とびチャンピオン」 <出典：文溪堂 3年生のどうとく>
- 3 主題構成表

<p>■内容項目 希望と勇気、努力と強い意志</p> <p>自分でやろうと決めた目標に向かって強い意志をもち、粘り強くやり抜くこと。</p>	<p>■内容項目から見た児童の実態（意識）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で目標を立て頑張ることができる児童がいる。 ・教師や保護者のアドバイスや賞賛があれば、目標を決めて頑張ろうとする。 ・目標を忘れてしまい、決めるだけで、実際に達成することができない児童もいる。 ・目標に向かって頑張ることがよいということは分かっている。 <p>■意識の要因</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標に向かう意識が低く、目標に向かって継続して努力することができず、長続きしない。 ・大人のアドバイスがあれば、できたらほめられるし、できないと叱られるからやりきろうとするなど、大人に頼っている。 	<p>■教材の分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優勝できると思っていて引っかかってしまい、悔しいという主人公の気持ちに共感することができる。 ・初めは一生懸命練習するが、だんだん練習をしなくなっていく主人公の気持ちを考えることにより、途中であきらめてしまう、人間の弱さに気付くことができる。 ・二か月、三か月と続けることができた主人公の気持ちを考えることで、自分で決めたことを今度こそ最後までやりきろうとする気持ちに気付くことができる。 ・最後に新記録で優勝できたときの気持ちを考えることで、努力し物事をやり抜くことよさを確かなものとする。
---	---	---

■ねらい

目標に向かって粘り強くがんばり続けることが、自分の成長につながることに気付き、自分で決めた目標に向かって、強い意志をもち、粘り強くやり抜こうとする心情を育てる。

<p>■展開の構想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・悔しい思いをした主人公の気持ちや練習しても上達しない時の気持ちを考えさせ、途中であきらめてしまう主人公の気持ちに共感できるようにする。その上で先生に言われて、どんな気持ちで三か月努力し続けたかを考え、本番にチャンピオンが決まった後でも更に新記録が出るまで頑張れた粘り強い意志に気付かせたい。 ・グループで自分の目標を決めた体験談を踏まえて話すことで、なぜ頑張れたかを気付かせる。 ・自分たちの生活を振り返ることで、目標に向かって、取り組むよさと意欲をもたせる。 	<p>■基本発問（◎中心発問）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○二年生のなわとび大会の次の日から練習を始めた優花はどんな気持ちだったのだろう。 ○毎日、一か月間練習してもなかなか記録が伸びないときはどんな気持ちだったのだろう。 ◎二か月、三か月と、練習を続けているときの優花はどんな気持ちだっただろう。 <p>【深】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前はやめちゃったけど、何で今度はやめないの。 ・先生に言われたから頑張ることができたのかな。 ・記録が伸びなくてもつづけられたかな。 ○二重とび競争で優勝した時どんな気持ちだっただろう。
--	---

■「わたしたちの道徳」の活用 （ 授業前 ・ 授業中 ・ **授業後** ・ 活用しない ）

帰りの会で、P24に目標と目標を立てた理由、目標に向かってがんばって気持ちを書き込む。

4 学習指導過程

観	学習活動（基本発問と予想される児童の反応）	指導・援助
<p>気 付 く</p> <p>見 つ め る</p> <p>深 め る</p> <p>見 い だ す</p>	<p>1 頑張っていることについてのアンケート結果を知る。 ・アンケートからクラスが何に頑張っているのかを知る。</p> <p>2 「二重とびチャンピオン」の話を聞いて、感想を交流する。 ・優勝できなくて、悔しい気持ちが分かる。 ・一生懸命練習できていてすごいと思った。 ・途中で練習しなくなってしまったのはわかる。</p> <p>3 感想をもとに、主人公について話し合う。 ○二年生の縄跳び大会の次の日から練習を始めた優花はどんな気持ちだったのだろう。 ・思ったように跳ぶことができなくてくやしい。 ・何でうまくできなかったんだろう。 ・次こそ頑張るぞ。</p> <p>○一か月間毎日練習してもなかなか記録が伸びないとき優花はどんな気持ちだったのだろう。 ・なかなか記録が伸びないし、もうやめてしまおうかな。 ・まだ一年もあるから、もう少し後からでもいいかな。 ・こんなに練習したのに、やめたくない。</p> <p>◎二か月、三か月と練習を続けているの優花はどんな気持ちだったのだろう。 ・先生に声をかけられたから頑張ろうという。 ・記録が伸びてきたからうれしいな。 ・もっとがんばって、記録を伸ばすぞ。</p> <p>【深めの発問】</p> <p>・前はやめてしまったけど、何で今度はやめないの。 ・先生に言われたから頑張ることができたのかな。 ・記録が伸びなくてもつづけられたかな。</p> <p>・自分で決めたことだし最後までやりたいと思ったから頑張れたと思う。途中でやめていたらきっと後悔して嫌な気持ちが残るから。</p> <p>○二重とび競争で、新記録で優勝したときどんな気持ちだったのだろう。 ・一生懸命頑張ってきてよかった。 ・途中でやめなくてよかった。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">自分で決めたことを、最後までやりきる。</p> <p>4 自分で決めたことを最後までやり切れたことについて、自分の生活とつなげて振り返る。 ・一輪車で空中乗りをできるようにしたいと目標を立てて、一生懸命練習したら、失敗せずできるようになれたので、これからも目標に向かって頑張りたい。</p> <p>5 本時の自己評価をする。 ・主人公と自分と重ねて考えたか。 ・友達の意見につなげて話したか。 ・なりたい自分を見つけたか。</p>	<p>研究（2）①意識の把握</p> <p>・頑張っていることについてのアンケートで表れた学級の実態について紹介し、価値の方向付けをする。 ・主人公について、「わかる」「すごい」「どうして」という視点で、感想をもたせる。</p> <p>・一輪車の練習などを思い出させ、できなくて悔しさと、大会のすぐ翌日から練習に取りかかる姿をおさえることで、主人公の頑張りたい気持ちに十分共感させる。</p> <p>・大会の翌日から毎日一か月間もやっても、記録が伸びないため、やめたくなくなってしまいう主人公の気持ちに「あなたもこの気持ち分かる」と問い返すことで自分の経験とつなげて考えさせ十分共感させるようにする。 ・先生の呼びかけではっとしたことを押さえる。</p> <p>研究（2）②深めの発問の工夫</p> <p>・子どもの思考に沿わせることができるようにいくつか用意する。</p> <p>研究（2）②語り合いの工夫・小グループ交流</p> <p>・多様な考えを話し、また相手からも聞くことができるように、自分の考えの理由と自分の体験とつなげて話せるように話型を示して話す手がかりにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ぼくは〇〇だと思います。 わけは、ぼくも〇〇のとき、〇〇だったから、〇〇という気持ちがよく分かります。</p> </div> <p>・優勝しても更にとび続けたのはなぜかを問いかけ、自分で決めた目標より更に上を目指してやり切れたというより高い価値をおさえる。</p> <p>研究（2）①振り返りの工夫</p> <p>・「いつ」「どこで」「どんなこと」「そのときの思い」「今思うと」を書かせることで、具体的に振り返れるようにする。 ・自分の生活を振り返ることができない児童には、今つかんでいる実態をもとに声をかけ、想起できるようにする。 ・学級の中で目標を立てて頑張っている児童の姿を紹介する。</p>

5 道徳の時間<本時>と他の教育活動との関連

<日常生活>	<教科・特活>	<児童の意識>	<指導・援助>
2学期のめあて決め ・2学期の間頑張ることを決め、取り組むことができる。 家庭学習の頑張り ・自分の目標を決めて頑張ることができる。 朝の会のめあて ・学級で決めた今日のめあてに向かって取り組むことができる。 帰りの会 ・めあてに向かって生活できていたかを振り返る。	7月(体育) 水泳 25m泳ぎきることができる。 ・頑張って泳げたらうれしいな。	・今年は去年よりたくさん泳ぎたいな。 ・苦手だから泳ぎたくないな。	・自分の目標を達成するために一生懸命頑張っている姿を価値付ける。
	9月(体育) 運動会の練習 台風の日 一輪車 力を合わせて、少しでも早く走れるように考え、一生懸命取り組む。 ・一生懸命頑張ると気持ちがいいな。	・相手の団に勝てるように、一生懸命頑張りたい。 ・練習でも頑張って声を出して頑張りたい。	・少しでも速く走れるように努力している姿や練習でも頑張っている姿を、評価する。
	10月(算数) いろいろなわり算 あまりのあるわり算を粘り強く計算する。 ・難しい問題でも、粘り強く取り組んだら、できるようになったよ。	・あまりが出るから、少し難しい、できるようになるまで頑張ろう。	・一生懸命できるまでがんばる姿や、分かりやすい説明ができよう解き方を考えている姿を価値付ける。

道徳の時間 (本時) 希望と勇気、努力と強い意志 教材名「二重とびチャンピオン」

本時のねらい

目標に向かって粘り強く頑張りが続けることが、自分の成長につながることに気付き、自分で決めた目標に向かって、強い意志をもち、粘り強くやり抜こうとする心情を育てる。

係活動 ・自分に与えられた仕事を一生懸命行う。 学級活動 ・学級で決めためあてを毎日振り返る。	11月(体育) 持久走大会 目標タイムで走れるように一生懸命取り組む。 ・毎日自分でも走って、タイムが縮むとうれしいな。	・自分で決めた目標なので、達成できるように頑張りたい。	・自分のタイムを縮めるために、頑張ろうとしている姿を認め、価値付ける。
--	--	-----------------------------	-------------------------------------

自分の決めたことは最後までやりきる。



- ・最後までがんばってよかった。
- ・途中でやめなくてよかった。

ゆう勝したとき

- ・記録が伸びてきてうれしい。
- ・あきらめずがんばろう。
- ・自分で決めたからやりきりたい。

二か月、三か月とれん習を続けているとき



- ・もうやめちやおうかな。
- ・まだ一年もあるし、後からでもいいかな。

なかなかきろくがのびないとき

- ・次こそがんばるぞ。
- ・たくさん練習しよう。

次の日かられん習を始めたとき

二重跳び大会で優勝できるように練習する。



優勝できなくて悔しい。

二重とびチャンピオン